

令和7年度事業報告

I. 事業概要

令和7年度は、フリーランス新法を踏まえた厚生労働省の方針に基づき、会員が安心して安全に就業できる環境を整備する必要があることから、契約方法を発注者様から会員に直接業務委託が行われる新しい契約方法に移行いたしました。現在、少子高齢化が進展する中、就業を通じて高齢期の生きがいを実現するとともに、市内小中学校の除草をボランティア活動で行う等、地域社会に貢献するセンターとして事業を展開していますが、会員については定年延長などで、新規入会者の確保が依然厳しい状況となっています。しかしながら、令和6年度に立ち上げた女性委員会では女性会員の確保に努め、就業の拡大は勿論のこと女性に特化した講習会や文化活動、サークル活動を積極的に行い会員の拡大に努めています。

愛西市シルバー人材センターは、公共施設や民間事業所の請負や派遣業務を受注しております。また、各個人宅からの申込み、例年通りありますが、会員の高齢化や減少で就業の機会が減ってきています。請負事業の就業件数は、2,848件(対前年比△242件、7.8%減)、配分金は1億3,032万円(対前年比△3,870千円、2.9%減)、一方、労働者派遣事業の就業延人員は1,990人日(対前年比1,012人日の増、203.5%増)、契約金額は、14,106千円(対前年比8,810千円増、266.3%増)となりました。高齢者の就業機会の創出・働き方改革の実現に取り組む企業との協業に取り組みました。

各種事業についても、愛知県シルバー人材センター連合会の研修会を始め6月25日開催した令和7年度定時総会等、年度当初に計画した事業を実施することができました。

新規入会者につきましては、入会説明会を本所または佐屋支所において毎月開催し、毎月の「広報あいさい」で開催案内をすることで、1年間で27名(対前年比4名増)の方の新規入会とすることができました。退会者につきましては37名(対前年比8名増)となり令和7年度末の会員数は209名(対前年比10名減)となりました。詳しい事業内容につきましては次ページ以降に記載のとおりです。

当センターにおきましては、令和7年度から始まりました新たな契約方法を推進していくとともに、会員の高齢化が確実に進行している状況を踏まえて80歳を超えても活躍できる就業環境の整備に努め、今後とも市民の皆様を始め、市当局並びに事業所、会員の皆様から信頼されるセンターを目指し、周囲の状況に柔軟に対応できる組織となるよう、会員及び役職員が一体となって就業機会の確保に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたしまして、令和7年度の事業報告といたします。